

劇団東演公演No.161

作 シャルル・ヴィルドラック

LE PAQUEBOT
TENACITI

訳 鈴木力衛

演出 鶴山仁

美術 乗峯雅寛

照明 古宮俊昭

音響 藤平美保子

音楽 高崎真介

衣裳 山田靖子

舞台監督 相川聡

制作 横川功

出演

豊泉由樹緒

南保大樹

奥山浩

星野真広

原野寛之

小泉隆弘

三代陽輔

阿部航平

光藤妙子

古田美奈子

中花子

古山華誉

商船 テイナシテイ

夢を持ち、自由に翔び立ち
冒険するのが若者さ、
…いつの時代だってそうだった！



2022年2月16日(水)～27日(日)

小田急線・井の頭線(下北沢駅)東口・中央口より徒歩15分・送迎車あり

東演パラータ

著作権代理：(株)フランス著作権事務所

商船 ティナシテイ



三代陽輔



豊泉由樹緒



阿部航平



南保大樹



光藤妙子



奥山浩



古田美奈子



星野真広



中花子



原野寛之



古山華誉



小泉隆弘

「例えば大きな川が二股に分かれていたとする、あんたはどっちへ流れて行くかね?」
 「僕は、こうと決めたら必ずそっちに向かって突き進みますよ、自由のために。で、とっつあんは?」
 「わしはワインの小瓶のコルクみたいなものさ、流れに任せてどっちへでもゆったり流れてゆくね……」
 本物の自由つてもものは手前の体の中にもってなくちゃならねんだよ……」
 ものがたり
 1920年代、戦争から解放された青年たちにとって、自分たちの未来を輝かしいものにするには、
 疲弊したフランスから見ると、未開の地カナダは十分に魅力あふれた夢の新天地だった。
 その新天地に向かう二人の若者バスチアンとセガールが、
 明日の出港に胸を躍らせこの港町に到着したのだが、しかし立ち寄った港のレストランで
 「商船ティナシテイ」はボイラーの故障で出港は二週間ほど延びたことを知らされる。
 二人はパリには戻らず、このレストランの二階に部屋を取り修理を待つことにした。
 いつしか常連の労働者たちとも馴染みとなり、特に古株のイドウとは人生について語りながら
 自分たちの夢を膨らませていった。そして店のウエイトレス・テレーズは
 そんな二人にとってちよつと気になる存在に……。
 やがて船の修理も終わり、いよいよ出港する日の朝、船員が9時の乗船を知らせに来た。
 レストランの女将さんたちに「さようなら、じゃないよ」、「じゃ、また!」
 セガールは笑顔で別れを惜しんでいる。
 そこに古株イドウが神妙な顔つきでやって来ると……。

- 前売開始 2022年1月10日(月)
- 料金 一般 4,500円 シニア(65才以上の方) 4,000円 U25(25才以下の方) 2,500円
- ①+1 チケット 13500円 [3名様グループに1名ご招待]
- ①+1 チケット、U25は劇団でのみ発売
- チケット取り扱い
- ◎劇団東演 03(3419)2871 Email=info@t-toen.com
- ◎東演チケットセンター【東演CNプレイガイドで検索】
- ◎ローソンチケット 0570(084)0003 Lコード 31337 演劇専用 0570(000 407[10:00~20:00])
- ご入場の際には、検温、手指の消毒、マスクの着用などにご協力をお願いいたします。
未就学児のご入場はできません。

※ 開場は各開演の40分前

	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
14:00		●		●		●		●		●		●
19:00	●		●		●		●		●		●	

